

第10回環境やまがた大賞受賞者の紹介

10回目となる今回は、「国立鶴岡工業高等専門学校教授 小谷卓^{たかし}さん」、「特定非営利活動法人 国際ボランティアセンター山形^{アイビー}（IVY）」、「山形県立置賜農業高等学校 MOTTAINAI^{もったいない}プロジェクトチーム」、「万里の松原に親しむ会^{ばんり}」の1個人3団体を受賞者として決定しました。

表彰式は、世界環境デーである6月5日（金）に開催された「山形県地球温暖化防止県民運動推進大会」の中で行われ、高橋節^{たかし}副知事から各受賞者に表彰状が手渡されました。

表彰式の様子



※ 各受賞者の活動内容は次のとおりです。

国立鶴岡工業高等専門学校教授

たかし
小谷 卓さん（鶴岡市）

地域の環境保全活動に尽力

小谷卓さんは、市の環境啓発イベント「環境フェアつるおか」の開催について、第1回から実行委員長を務めているほか、市や庄内地域の環境関連団体の会長等として、地域における取組みをリードしています。また、国立鶴岡工業高等専門学校の教授としての専門を活かして、学校や各種団体において、廃棄物や地球温暖化などの環境問題について講演を行うなど、環境教育にも熱心に取り組み、地域における環境保全の取組みに大きく貢献しています。



環境絵画・標語の表彰



自転車発電に挑戦してみよう！

特定非営利活動法人

国際ボランティアセンター山形 (I V Y) (山形市)

地球子どもキャンプの開催

I V Yは平成3年から国際交流の分野で活動を開始し、平成17年からは毎年12月から1月にかけて県内の少年自然の家で「地球子どもキャンプ」を開催しています。キャンプを通じて、子どもたちが、自分たちの生活が地球環境とつながっていること、実際に自分ができることなどについて考えるきっかけづくりを行っています。また、キャンプの開催前にはキャンプリーダーの養成講座を開催し、環境教育の指導者の養成も図っています。



フードマイレージについて学習



雪の中に隠された食材探し

山形県立置賜農業高等学校

MOTTAINAI プロジェクトチーム (川西町)

ワインの搾りかすの リサイクル飼料化

MOTTAINAIプロジェクトチームは、置賜農業高等学校の生徒26名からなり、地域から出るワインの搾りかすなどの食品産業廃棄物をリサイクルして飼料化する取組みを行っています。産学官が連携した「MOTTAINAI研究会」の一員として試験研究を続けるとともに、製造したリサイクル飼料を地域の畜産農家へ供給するなど、地域産業の発展や地域資源循環型社会の創出に大きく貢献しています。



混合機へ搾りかすを投入



混ぜ終わった搾りかすの回収

ほんり

万里の松原に親しむ会（酒田市）

万里の松原の管理と 森林環境学習の支援

万里の松原に親しむ会は、平成17年に設立され、87名の会員によって運営されています。クロマツの林である「万里の松原」の植栽木の剪定や下刈などによって森林の維持管理を行い、保安林としての機能の維持と、地域の住民の憩いの場づくりを行っています。また、万里の松原の中に自然観察教育林の区域を設定したり、周辺の小中高5校との連絡会を組織化するなど、子どもたちの森林環境学習の支援活動を行っています。



日和山公園の植林銘前にて



庄内海岸林での体験学習